

福井大学学術協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（10月分）

留学先大学：Vytautas Magnus University

氏名：佐藤 誠

10月になるとカウナスの街全体が紅葉で綺麗に色づき始めるのが印象的でした。写真は銀杏の並木道が続く新市街通りで、普段よく利用するキャンパスに行くときに毎回この道を通るので毎回気分が晴れやかになります。地元の人によると例年10月から寒くなり始め、日が落ちるのも早くなるらしいのですが、今年は暖かい日が続いており久しぶりにきれいな紅葉が楽しめたと嬉しそうに話していました。9月から10月にかけて特に暖かい日は友達と川辺でまったりと過ごすことが多いです。

今回は主に私が秋学期履修している授業について紹介しようと思います。今学期も政治系の授業を履修することをベースに、社会学系の授業で単位交換ができるものを選んで組みました。



VYTAUTAS MAGNUS UNIVERSITETAS						
I	II	III	IV	V	VI	VII
			11:15-12:45 International Cooperation in the Black Sea Region [LECT] GED 44 302			
13:00-14:30 European Identities [LECT] PUT 23 106						
	15:00-16:30 Sociology and Anthropology [LECT] PUT 23 310	15:30-17:00 Political Ideologies [LECT] PUT 23 312				
16:45-18:15	17:00-18:30 Religion and Politics [LECT] PUT 23 311		17:45-19:15 Sociology and Anthropology of Gender [LECT] JON 66 208			
			19:30-20:15 Sociology and Anthropology of Gender [SEM] JON 66 208			

今学期は6つの授業を履修することにしました。そのうちの4つは政治系の分野 (European Identities, Religion and Politics, Political Ideologies, International cooperation in the black sea region)、残りの2つは社会学系の分野 (Sociology and Anthropology, Sociology and Anthropology of Gender) から選択しました。当初はこれらに加えてビジネス系の科目 (Business Communication) を履修していたのですが、担当教員の体調が悪化したため急遽その授業がキャンセルされてしまいました。個人的にその授業も単位交換で交渉しようと考えていたうちの1つだったのですが、実際学期が始まると7つの授業にうまく時間を割くことの難しさを感じていたことや杉原記念館のPBLもあることから、その他のビジネス系の授業に途中から履修することも可能でしたが、履修中止の選択をしました。学部生3、4年生向けの授業を履修するのであれば、最大で6つの授業を履修するのが限度だと思います。

す（あくまで個人的な体感としてですが）。加えて今学期の特徴として学期期間が春学期よりも約1カ月短いため、毎週土曜日に授業が開講されます。土曜開講授業は学期期間中、どの授業においても必ず1回ある（教授による場合もある）ので前学期よりも集中的に講義が進んでいく気がします。

履修登録の過程においては全てオンラインで授業登録が行われます。日本の大学と同様に学内専用のポータルサイトで履修登録ができ、受講数の定員は決まっています。ですが、留学生であれば交渉次第で定員から溢れたとしても履修が可能になるくらい柔軟な対応をしてくれる場合が多いと思います（これも教授次第のところもありますが）。

今学期は **European Identities** と **International cooperation in the black sea region** という授業がとても興味深いです。前者はEUの統合政策に対する各国の客観的な視点と内政を学ぶことができます。教授はナショナリズムに詳しいので、基本的にEU政策の授業は主観的な視点で授業を展開する教授が多いと言われていますが、この授業ではより客観的な視点からEUの政策の歴史から現在に至るまでを分析できることやEU諸国の歴史的な政治性質から現在のEUにおける参画姿勢を学べるのが面白いです。後者は夏休み期間中にジョージアやウクライナに足を運んでみて、それらの外交政策に興味を持ったのがきっかけで履修しようと決めました。この教授は特にEUの外交政策に詳しいので、黒海におけるEUの外交政策や黒海諸国の西欧またはロシアに対する政治的姿勢を分析できるワークショップ型の授業を展開します。プレゼンテーションやアクティブな参加態度が求められるので、ワークショップ型の授業を通じてより深い知識を身につけることができます。

そして今学期は修士課程の授業（**Sociology and Anthropology of Gender**）を履修してみることにしました。単位交換の予定も兼ねていますが、留学が始まってから欧州と日本の男女間でのジェンダーの役割の概念の違いやその影響を知りたいと思う機会が日常生活の中で多くあったこと、また日本でジェンダーの授業となると女性の教授が多いのですが、この授業では男性が教授のためその視点の違いの有無も気になり、受講してみることにしました。VDUでは留学生も修士課程の授業を自分の専攻に限らず履修することが可能です。修士課程の方が専門に特化した授業が多いのが魅力的ではありますが、その分難易度も上がるためその授業に割く労力も増えます。実際に授業を受け始めてリーディングの量の多さと授業内（セミナー有）での院生の議論がより専門的になったと感じています。その分やりがいも感じているので修士課程の授業を履修してみるのも興味深いと思います。



橋クラブから誕生日プレゼントを頂きました。



大好きな 50cm ピザ



鍋パーティー